

万博記念公園だより

「太陽の塔内部再生」事業 特集号

歴史と事業の中身をご紹介します！

目指せ！みんなの
Iban Park



大阪府広報担当副知事
もずやん

1970年、日本万国博覧会開催時の太陽の塔。塔の右手と大屋根がつながり、内部へ入れるようになっていた。



太陽の塔を知る

芸術家・岡本太郎によって制作された太陽の塔。1970年、「日本万国博覧会」のシンボルゾーンに、テーマ館として誕生しました。当時は、塔の内部とつながる「大屋根」長さ（南北）292メートル、幅（東西）108メートル、高さ約30メートル」があり、塔を挟むように「母の塔」と「青春の塔」が建てられていました。構造は、鉄骨、鉄筋コンクリート造りで一部軽量化のため吹き付けのコンクリートが使われています。太陽の塔が表すのは、過去・現在・未来を貫いて生成する万物のエネルギーの象徴であり、同時に生命の中心、祭りの中心。その壮大な作品は、博覧会開催期間中、多くの人々に、感動を与えました。

太陽の塔を知る3つのキーワード

【4つの顔】

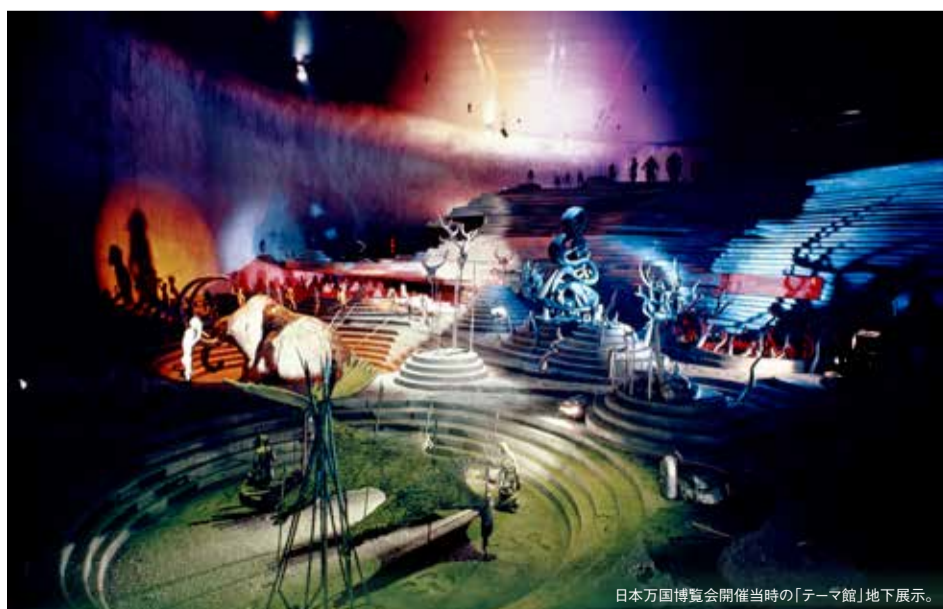
太陽の塔は、頂部に未来を象徴する「黄金の顔」、正面に現在を象徴する「太陽の顔」、お祭り広場で繰り広げられる祭りの守護神として鎮座する「黒い太陽」の3つの顔を持っています。さらに、博覧会当時はテーマ館の地下展示に「地底の太陽」といわれる顔が展示されていました。この「地底の太陽」は、高さ約3メートル、全長約11メートルにもなる巨大な展示物であったとされていますが、博覧会終了後の撤去作業から50年近く経った現在も行方わからない状態となっています。

【テーマ館】

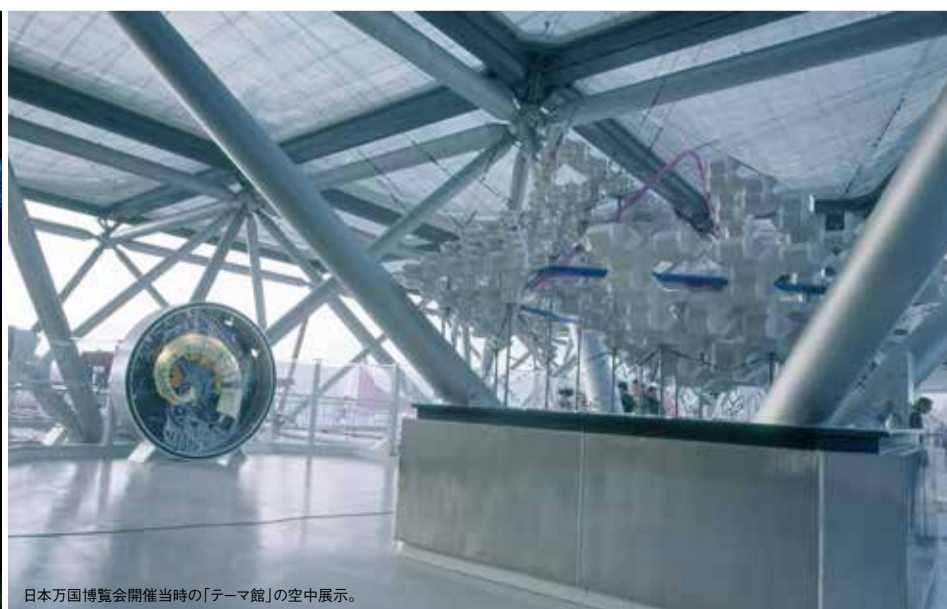
テーマ館は、地上、地下、空中の3層にわたる展示空間で、博覧会のテーマである「人類の進歩と調和」を最も表現したパビリオンでした。太陽の塔はテーマ館の地上部分にあたります。地下部分では、「生命の神秘」をテーマに進歩や調和の根源にある混とんとした原始的な体験を、地上部門では、「現代のエネルギー」をテーマに人間の生き方の多様さ、そのすばらしさや尊厳を、そして大屋根の空中部門では、「未来の空間」をテーマに人間尊重の未来都市の姿をそれぞれ表現していました。来場者は、地下展示から太陽の塔の内部を通って大屋根の空中展示へとつながる経路で観覧していました。

【生命の樹】

太陽の塔の内部の展示空間には、鋼管で造られた高さ約41メートルの「生命の樹」があり、樹の幹や枝、根本には292体にも及ぶ、さまざまな生物群模型が取り付けられ、アメーバなどの原生生物からは虫類、恐竜、そして人類に至るまでの生命の進化の過程を表していました。博覧会終了後は、地下の展示空間は埋められ、巨大な大屋根は1977年、1978年度（昭和52年～53年）にかけて撤去されました（一部はお祭り広場にモニュメントとして存在しています）。しかし、50年近くの時を経た今でも太陽の塔は、芝生が青々と広がる「太陽の広場」に、万博記念公園のシンボルとして残されています。



日本万国博覧会開催当時の「テーマ館」地下展示。



日本万国博覧会開催当時の「テーマ館」の空中展示。

「太陽の塔内部再生」事業

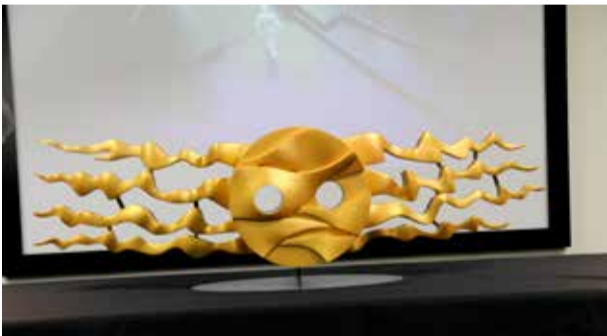
大阪のシンボルとして親しまれてきた太陽の塔。博覧会閉会后、塔内部の1階から最上階までは公開されていませんでした。今回、塔の耐震工事を行うにあたって、並行して「生命の樹」や「地底の太陽」などの内部展示物の再生を実施し、平成30年3月に塔内部の全体を一般公開する予定です。



万博開催当時のテーマ館の地下展示「いのり」。金色に輝くのが「地底の太陽」。

地底の太陽（第4の顔） 10分の1原型模型が完成

—平成29年3月30日—



大阪万博当時テーマ館地下空間「いのり」に展示されていた中では最大の芸術作品で、現在、行方不明となっている『地底の太陽』（全長約11メートル）を復元するにあたり、縮尺10分の1（全長約1.1メートル）の精度の高い原型が完成。報道陣に公開されました。この原型は原寸大に復元する際の基となるものです。

寄附金募集開始セレモニー 「太陽の塔内部再生」前最後の内覧会

—平成28年10月29日、30日—

- 応募通数…39,853通（約8万人）
- 応募倍率…約160倍（当初募集の500人ベースで算定）、これを受けて、翌10/30（日曜日）にも800名の追加開催することを決定
- 参加者数…10月29日、30日合計で1,141名



「太陽の塔内部再生」事業 キックオフセレモニー

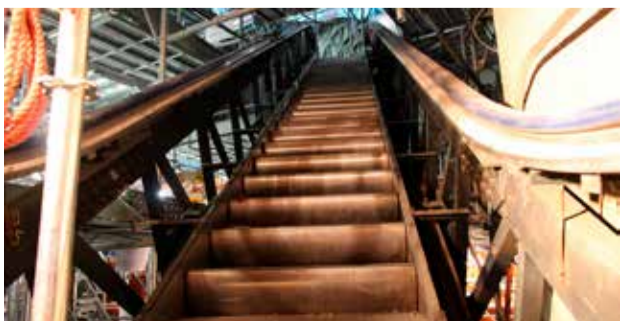
—平成28年8月25日—



- 耐震改修工事前最後の内覧会の開催を発表
- ふるさと納税制度を利用できる寄附金の募集や、記念品について発表
- 河内家菊水丸氏を「太陽の塔内部再生」事業広報担当アンバサダーに任命



拡散板（コロナ）の取り外し。[平成28年12月]



解体中のエスカレーター。[平成29年1月]

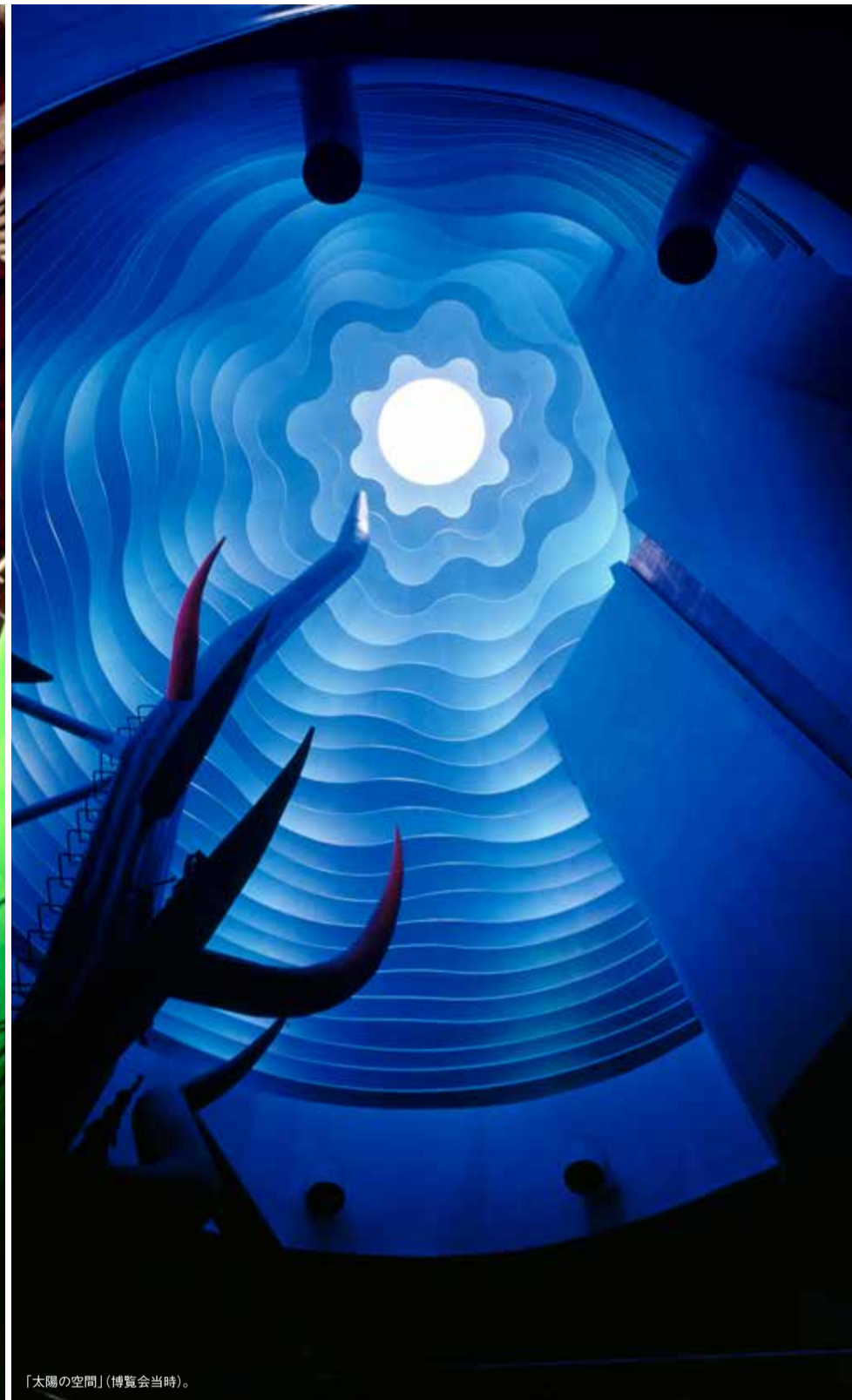


足場に囲まれた生物群模型。[平成28年11月]

「太陽の塔内部再生」事業の進捗
平成28年10月末のセレモニー以降、太陽の塔の耐震改修や生命の樹の生物群模型および地底の太陽の復元作業を進めています。



「生命の樹」(博覧会当時)。



「太陽の空間」(博覧会当時)。

万博記念公園 太陽の塔 夏のお笑い大盆踊り

—平成29年8月26日—

「太陽の塔内部再生」事業広報担当アンバサダーである河内家菊水丸氏による河内音頭で多くの方が盆踊りを楽しみました。万博マニアの菊水丸氏は、太陽の塔内部再生事業にかける熱い思いを語られました。



クリスマスには 幻想的な太陽の塔が!?

毎年クリスマス恒例の「イルミナイト万博Xmas」。太陽の塔への3Dプロジェクションマッピング(ビームペインティング)により、幻想的な姿の太陽の塔がお楽しみいただけます。今年は12/1~24の金・土・日および25(月)17:00~21:00の開催です。

GAMBA EXPO

—平成29年8月13日—



撮影:大阪府

8月13日(日曜日)開催のJ1リーグジュビロ磐田戦でガンバ大阪の選手が「太陽の塔」デザイン入り記念ユニフォーム着用、来場者全員に「GAMBA EXPO」限定記念ユニフォームシャツが配布されスタジアムが真っ白に染まりました。当日は選手による募金活動も行われ、124,008円が集まりました。

ガンバ大阪選手による 太陽の塔工事進捗見学

—平成29年6月28日—

ガンバ大阪の遠藤保仁選手、今野泰幸選手、東口順昭選手の3選手が工事中の太陽の塔内を見学。当日行われた新企画の発表会では、選手の皆さんが太陽の塔のフィギュアにサインをされました。選手サイン入りのフィギュアは、当分の間、市立吹田サッカースタジアム内にあるガンバ大阪ミュージアム「Blu STORIA」で展示しています。



組み立て中の水平線(太陽の空間)。[平成29年9月]



実寸大の地底の太陽(後方)と10分の1原型模型(前方)。[平成29年8月]



プロローグ空間増築のための掘削。[平成29年7月]

寄附金募集について

平成28年10月29日(土曜日)より、「太陽の塔内部再生」事業にかかる寄附金の募集を開始しました。ご寄附をいただいた方には、このまたとない機会にご参加いただいた証となる記念品等を進呈します。なお、寄附にあたっては、ふるさと納税制度がご利用いただけます。



記念品 ※法人・団体の方は寄附額区分が異なります。詳細は寄附金募集公式サイトをご確認ください。

【1万円以上5万円未満】記念メダル(数量限定)



日本万国博覧会の開催に合わせ造幣局によって製作された3種類の公式記念メダル「金・銀・銅」のうち、銅メダルを内蔵したプレミアム感ある記念品です。メダルのデザインは、グラフィックデザイナーとして有名な福田繁雄によるもので、ケースには大阪万博会場の風景写真を用いています。

サイズ…メダルケース:97×98×8mm

【5千円以上1万円未満】大判ポストカード&三つ折りホルダー



実用的なホルダーと太陽の塔の初期デザインをあしらった、大判ポストカードのセットです。日常シーンで使えるホルダーは、第4の顔である「地底の太陽」をモチーフにしています。

サイズ…大判ポストカード:130×205mm
三つ折りホルダー:135×215mm

【5万円以上10万円未満】カップ&ソーサ



白を基調とした、美術的にも優れた記念品で、岡本太郎のサインもあしらっています。

サイズ…カップ:口径78mm・高さ70mm、ソーサ:直径145mm・高さ18mm

【10万円以上50万円未満】絵皿2枚組



サイズ…直径250mm

美術装飾・実用的にも使える絵皿2枚セットです。岡本太郎サイン入りの太陽の塔の初期デザインを、白と黒の直径25cmの大皿にあしらったものです。

【50万円以上】版画



サイズ…730×560mm

岡本太郎の太陽の塔の初期デザインの版画です。岡本太郎の情熱を臨場感を持って伝えている作品。裏面にはシリアルナンバーが入るオリジナリティが高いものです。

先行予約チケット

太陽の塔内部公開にあたり、一般予約よりも先行して優先的に予約ができる先行予約&招待券(4歳以上お一人/枚が無料)です。先行予約期間に予約をされなかった場合は、一般公開から1年間有効の招待券としてご利用いただけます。

寄附金額	個人	法人・団体
5万円以上	2枚	—
10万円以上	4枚	—
50万円以上	6枚	—
100万円以上	8枚	
250万円以上	20枚	
500万円以上	30枚	

寄附者銘板

高額寄附いただいた方でお名前等の掲出をご希望される方は、太陽の塔の施設に掲出させていただきます。

[大]…1,000万円以上(個人、法人・団体とも)縦7cm、横16cm

[中]…200万円以上1,000万円未満(個人、団体・法人とも)縦3.5cm、横10cm

[小]…50万円以上200万円未満(個人のみ)縦2cm、横7.5cm

寄附者名等の保存

ご寄附いただいた方で、ご希望される方のお名前等を保存し、一般公開後に太陽の塔の施設に設置予定の端末機器で、保存されたご自分の情報を検索・閲覧していただけます。

「太陽の塔内部再生」事業にかかる寄附金 お手続きの流れ

1 寄附の申込み

[公式サイトのお申込フォームまたは寄附申込書をご利用ください]

「公式サイトのお申込フォーム」を利用する場合

公式サイトへアクセスし、お手続きください。http://www.citydo.com/furusato/official/osaka/expo/

「寄附申込書」を利用する場合

主な寄附申込書配布場所：万博記念公園総合案内所、各ゲート、EXPOCITY内「inforestすいた」ほか「郵送」「FAX」「メール」いずれかの方法でご送付ください。

ご提出先：サイネックスふるさと納税センター 〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町3-6-13
TEL/0800-170-2126 FAX/0800-111-2636 E-Mail/expo@citydo.com

2 寄附金のお支払い

[クレジットカードまたは納付書でのお支払いとなります]

クレジットカードでのお支払い(インターネット申込専用)

公式サイトへアクセスし、お手続きください。ご利用いただけるカード：「VISA」「MasterCard」「JCB」

納付書によるお支払い

申込みの受付後、納付書を郵送致しますので、最寄りの金融機関窓口でお支払いください。お支払い後は、金融機関の領収印が捺された「納付書・領収証書」を受け取り、大切に保管してください。

※「納付書・領収証書」は確定申告の際に必要となります。※全国の主な金融機関(りそな銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行等)でお支払いいただけます。なお、ゆうちょ銀行からはお支払いいただけません。納付可能な金融機関一覧は下記よりご確認ください(平成27年6月3日現在)。http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/koukin/index.html

3 記念品等と領収書の受け取り

[寄附金の納付を確認後にお送りします]

記念品等について

「太陽の塔内部再生」事業にご寄附いただいた記念に、寄附金額に応じた記念品等をお届けします。※5,000円以上の寄附で、お送りしています。※詳しくはHPをご覧ください。

領収書について(クレジットカードでのお支払いの方のみ)

寄附金の納付を確認後、領収書を送付いたします。※確定申告の際に必要となります。※再発行はできませんので、確定申告期間まで大切に保管してください。

4 確定申告またはワンストップ特例制度の利用

税金の控除を受けるためには、**確定申告が必要です。**

翌年の確定申告の期間内に、最寄りの税務署で確定申告を行ってください。

※ご注意

「『太陽の塔内部再生』事業にかかる寄附金」をかたった不当な請求が予想されます。詐欺などには十分ご注意ください。大阪府の職員がふるさと納税の集金に回ったり、電話で口座を指定して振込みを求めたり、ATMの操作を求めたりすることは一切ありません。

「ふるさと納税ワンストップ特例制度」を利用される方
ふるさと納税ワンストップ特例の適用を受けるためには、申請書に記入の上、ふるさと納税をした自治体へ申請書を郵送してください。※平成28年1月1日からは、申請書に個人番号(マイナンバー)の記載欄が設けられました。また、申請書提出時に、「個人番号確認の書類」と「本人確認の書類」のコピーを併せて送付する必要があります。